



仙高の風

令和4年4月27日発行 第1号

環境委員が
育てたチコ
ーリップが
今満開！



❖入学式を挙行 4月8日、午後より本校第1体育館にて令和4年度入学式を挙行了しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓の皆様の臨席は叶いませんでしたが、保護者の見守りの中で、280名が岩井誠校長から入学を許可されました。新入生を代表して佐藤文菜さんが誓いの言葉を述べました。生徒たちはいよいよ高等学校での生活の第一歩を踏み出します。



岩井 誠校長 式辞 「豊かで実り多く、そして刺激に満ちたものであることを祈念しています。」

▼仙台高校は一九四〇年（昭和十五年）の開校当時から「教養教育」の大切さを謳い、その姿勢をこれまで貫いてきました。それは教科横断的に広く学び、一つの問題に対して異なる視点を持って考えることです。このことが答えのない社会で生きる上で何より大切であると考えています。そのため、まずは皆さんの学びを豊かにするためのたくさんの学習科目を用意しています。残念ながらそのすべてを学ぶわけにはいかないのですが、その中から自分で選ぶことができます。決めるのは皆さんです。▼幅広く学ぶことによってさまざまな物事の見方や多様な考え方が身に付きます。身に付いたものをベースに、自分以外の人の物の見方や感じ方、考え方に学んだり、意見を交換したりしながら、あてもないこうでもないと考えを巡らせます。そして、ある答え、あるいは結論にたどりつきます。こういった一連のプロセスをこの高校生活の中で何度も何度も繰り返します。時には自分の思い通りにいかず悩んだり、辛く苦しい経験もしたりしながら、ようやく先の見通せない未来に生きる上での土台が築かれていくのだと思います。その真価が問われるのは、高校を卒業し社会に出てからになりますが、これまで卒業した皆さんの先輩たちが、それぞれ進んだ先で自身の力を発揮し生き生きと活躍している姿を目の当たりにすると、あらためて本校が行っている教育の大切さと間違いのなさを実感するわけです。皆さんも、まずはこれまでの好き嫌いや得意不得意の概念をリセットし、新鮮な気持ちで幅広く学び、学んだことをもとに大いに考え、意見や考えを交わらせる中で刺激を受け、そして大いに悩みながら少しずつ未来に生きる力を育てていってください。▼今、高校入学という大きな節目に立ち、不安を抱えどうしたら良いかわ



からず、初めの一步をどう踏み出そうか悩んでいる人も多いのではないでしょうか。一つの考え方ですが「見る前に跳べ」という言葉があります。まずはやってみる、やってみてから考えるというスタイルです。当然リスクもそれなりにありますし、当たり前のことですが失敗もするでしょう。その時は「転んでもただは起きぬ」の気持ちを持ってください。特に若い人たちの中で、極端に失敗を恐れる傾向が強くなっていると聞きます。変に先回りをして失敗を回避しようとする、それ故に柔軟性が失われ、変にごまかしたり、縮こまってしまったりして、結果的にいつまでたっても自分に自信が持てないままになってしまう。若い人には「失敗する権利」があると思いますし、失敗したら、素直に反省して次につなげる糧とすれば良いのです。皆さんが本来持っている旺盛な行動力が、不安や失敗を恐れる気持ちによって削がれてしまうのが最も良くないことではないかと考えます。仙台高校には何度でもチャレンジできる舞台が用意されていますし、そんな皆さんを応援する雰囲気があります。安心してトライしてみてください。まずは自分なりに工夫しながら考えて、あるいは友だちにも相談しながら、必要だと思うことを全部やってみたらイイんです。私たちもそんな皆さんを見守りつつ、また皆さんの努力や成果を励みとしながら日々取り組んでいきます。



ともに頑張りましょう。（一部抜粋しました）



父母教師会会長和泉恭子様からお祝いのことばがありました。◆失敗を恐れずに「自主自立」の精神で、創造し挑戦し続けること、これは仙台高校の長い歴史の中で今もずっと生き続けています。◆皆さんは今日から高校生活が始まります。多くのことを学び経験し、皆さんも、失敗を恐れずいろいろな事に挑戦し未来を開いていく力を身に付けてください。3年後に皆さんが誇らしく充実した気持ちで未来へ羽ばたいていけるよう、悔いのない高校生活を過ごされることを願っています。（一部抜粋しました）

◆入学式「新入生代表宣誓」～高校生らしくひたむきに頑張る！～

「わたしたちは、九年間の義務教育が終わり、これからは自分で考え、自分で判断して決めていかななくてはなりません。これからの三年間は自分の将来像をしっかりと見つめ、輝かしい未来のために一步一步着実に歩いていこうと思っています。わたしたちは自分で選んだこの仙台高校で、大きな志を持って、最後まで諦めることなく高校生らしくひたむきに頑張ることをここに約束し、誓いの言葉といたします。」と述べました。（抜粋）

写真：堂々と力強く宣誓を述べる佐藤文菜さん（桜丘中出身）



◆**令和4年度「新任式」・「始業式」を行いました。**

4/8、新任式を行い、新しく着任された教職員が生徒に紹介されました。始業式後には、4月1日からの18歳成年年齢引き下げに伴う



各変更点などについて、板橋俊文主幹教諭から説明が行われ、その後、中村淳教頭から新クラス担任や部活動顧問名が発表され、生徒達からは発表の度に歓声や大きな拍手が起きました。

◆**登校指導を行いました。** 4/9、生徒指導を担当する教員らが国見駅や東西校門付近に立ち、挨拶を交わしながら登校マナーアップを呼びかけました。この日、1年次生も初登校。自転車を降りて歩く所や駐輪所、横断歩道の渡り方や歩道を歩く際のマナーなども具



体的な指導を行いました。地域の皆様には、ご迷惑をかけてしまう場面があるかも知れません。生徒の学びの機会として見守っていただきますようお願いいたします。

◆**フェニックスプラン(仙高版キャリアプラン) 3年次はいよいよ集大成の研究レポートづくり!** 4/11、7校時、3学年を対象に「研究レポートガイダンス」を実施しました。1年次のフェニックスゼミに始まり、2年次ホームルーム研修旅行で学びを深め、いよいよフェニックスプラン(仙高版キャリア教育)の集大成となる研究レポート作成を本格的にスタートさせます。



◆**2・3年生による部活動勧誘** 4/11から新入生の下校時間に



合わせて2・3年生が部活動勧誘を行いました。目立つように工夫した個性の溢れるチラシを配布したり、会話で楽しませたりしながら各部がアピールしていました。1年生は4月15日(金)に部登録になります。今年は何部の部活動に人気を集まるのか、皆の関心事です。

◆**1学年、仲間づくりにチャレンジ!** 本校スクールカウンセラーの上埜泉先生がファシリテーター(支援者)役となり、ゲームを行いながら生徒の仲間づくりをサポートしました。「バースデーサークル」では、言葉



を発しないでジェスチャーだけで誕生日順に輪を作る活動を行いました。生徒たちは身振り手振りで自分の誕生日を伝えながら、上手に並びました。参加した生徒は、「ジェスチャーで表現するのは難しく、その分すごくおもしろくて楽しかった。このゲームをすることで改めて誕生日や出身中学校を知ることができて、お互いを知ることとしてもすごく良い体験だなと思いました。」「同じクラスの人の顔も、よく知りませんでした。制限時間が終わってから、「どこの中学校なの?」と会話がはずみました。」次に、「10人を探せゲーム」を行い、あらかじめ用意された質問事項にじゃんけんをしながら、次々に仲間に声をかけていくゲームを行いました。笑顔あふれる活動となりました。参加した生徒は、「女子だけや男子だけでは成り立たないような質問もあったし、じゃんけんをすることによって、少しでも喋ることができたり、その人の明るさも知れておもしろかった。」

◆**新入生との「対面式」を開催。** 4/12、1校時に生徒会執行部が中心

となり、「対面式」を行い、新入生と2・3年次生が初めて顔合わせをしました。新入生は少し緊張しているようでしたが、式が進むにつれ緊張もほぐれ、仙高生の学校生活を紹介するスライドショーに目を輝かせながら視聴していました。これから少しずつ仙高生の絆を深めていって欲しいと思います。新入生代表で森下陽葵さん(南中山中出身)が挨拶をしました。「高校生になったという実感がまだ湧かずこれからの新たな生活に思いをはせています。仙台高校で学習以外にも部活や委員会など様々な活動に挑戦し仲間と共に素晴らしい生徒になれるよう新入生一同頑張っていこうと思います。」と述べました。



◆**防災訓練を実施しました。**

4/14、4校時に地震の発生を想定した防災訓練を実施しました。あいにくの雨で校庭への避難は中止となりましたが、クラス毎に避難経路の確認しました。また、放送による防災主任からの講話、防災委員からの「防災クイズ」等を通して、防災意識を高めました。羽生防災主任の講話:「日本は自然災害大国。物心両面の準備を忘れず、安心安全な学校生活を送れるよう皆で心がけましょう。」



仙高茶道部、表千家学校茶道『礎 ISHIZUE 24号』に載る!

仙台市立仙台高等学校 茶道部
創設80周年を迎えた本校の紹介や、仙高茶道部が昭和36年発足以来61年を迎えたこと、毎年八月末の仙高祭(文化祭)でのお点前披露では、1日100名程集まる茶席を開いていること、茶の湯を国際的にするため英文でも発表していることも紹介しました。また、秋には学区内町内会のご要望をいただいてヶ森市民センターでの茶会を開催していることについても紹介させていただきました。



創設80周年を迎えた本校の紹介や、仙高茶道部が昭和36年発足以来61年を迎えたこと、毎年八月末の仙高祭(文化祭)でのお点前披露では、1日100名程集まる茶席を開いていること、茶の湯を国際的にするため英文でも発表していることも紹介しました。また、秋には学区内町内会のご要望をいただいてヶ森市民センターでの茶会を開催していることについても紹介させていただきました。

